

個人質問

今の八尾市の課題とは 12人の議員が直撃

Q 個人質問とは。

A それぞれの議員が、市民生活にかかわる課題について、市長に対して聞いたものです。

Q 時間制限は。

A 一人につき30分以内（答弁を含まない）。

Q 質問の順番は。

A 抽選で決定します。

Q 質問内容は事前にわかるのか。

A 十分な答弁を引き出すために質問内容は事前に通告することとなっています。通告の内容は議会運営委員会で発表するとともにホームページに掲載します。



保健所運営の現状
どうなっている



問

八尾市が保健所を運営するに当たり、市議会は、職員体制の充実や健康危機事象への対応などを求める附帯決議を全会一致で可決した。その後の保健所の運営状況を聞きたい。

答

附帯決議は重く受け止めており、内容を踏まえ府や他の保健所とも連携し、計画的な人員確保に努めながら、迅速に対応していく。

問

生活保護基準の見直しによる本市への影響はどうか。見直しに係る各制度の影響は現時点で把握しておらず、今後調査を行い対応を見極めていきたい。

答

生活保護基準の見直しによる本市への影響はどうか。見直しに係る各制度の影響は現時点で把握しておらず、今後調査を行い対応を見極めていきたい。



平成30年度から市の所管となった保健所



公立幼稚園・保育所
存続を求める

問

私たちが実施した電話調査では、子育て世帯の8割が小学校区内の就学前施設を望んでおり、公立幼稚園・保育所の存続が市民の願いだと考えているかどうか。保護者は距離だけでなく、

答

保護者は距離だけでなく、さまざまな理由で施設を選択していると考えます。今後も引き続き、公立と私立の連携と協力を進め、認定こども園計画を推進することが重要と考えています。

問

八尾市の中学校では1クラス2〜3人しか給食を選択していない。子どもの貧困の実態や食育の観点からも、全生徒を対象とした中学校給食を実施すべきかどうか。

答

家庭弁当と学校給食のそれぞれのよさを生かし、健やかな心身の成長を期待して選択制給食を実施しており、現在全員喫食は考えていない。



出張所の窓口業務
なぜ再開しない

問

困っている市民のためにも、届け出などの窓口業務を出張所で行うべきと考えるがなぜできないのか。

答

出張所での届け出受付が年々減っていた実態と八尾スタイルの地域分権を進め、新たな役割を果たしていくため窓口業務を廃止した。届け出の受付は行わないが、問い合わせの対応や書類の預かり等は行っている。

問

野良猫の不妊去勢に補助を出していくことだが、今後、動物との共生を目指していくためにも条例の整備などを市が先導して進めていく必要があると思うがどうか。

答

先に条例を作るということではなく、他市の事例を参考に住民、関係機関の意見を聞きながら、助成制度を運用していきたい。